

江戸末期の儒学者 寺門静軒

万延元年妻沼に滞在した折 地元の人々の要請に応えて

「両宜塾」を開校 漢詩文を教えました

両宜塾跡



吟子が通い松本萬年に学び勉強した咸  
宜塾。萬年の娘荻江とも親友を結んだ